

令和3年度の取組実績と評価検証

基本方針 I 男女共同参画意識の定着

コロナ禍により、対面での活動が制限される事業もあったものの、講座等のオンライン化が進んだことで、開催場所や時間、会場の収容人数の制限を受けず、広く知識を習得する機会が提供できた。今後も積極的な情報発信や、感染症対策を講じた上での対面での活動の場づくりを進め、男女共同参画意識の定着に向けた取組を努めていく。

数値目標		当初値 (R1)	現状値 (R3)	目標値 (R7)
1	男女の地位を「平等」と考える人の割合	31.3%	-	50%
2	「家庭教育講座」を実施した施設の割合	46.6%	24.5%	63%

施策の方向	評価			令和3年度の具体的な取組み
	A	B	C	
I-1 男女共同参画を促す継続的な情報発信と学びの機会の提供 重点	4	1		山形県男女共同参画センター等が実施する各種講座について、チラシ配布や市広報による周知を行った。 また、中央公民館女性センターでは、春季・秋季講座のほか、ジェンダーをテーマにしたかがやき女性塾を開催した。
I-2 能力や個性を生かすための教育の推進	4		1	各学校で男女混合名簿や女子生徒のスラックス対応を実施している。 一方、コロナ禍の影響により、地域における保護者向けの家庭教育講座の開催を見送った。
I-3 一人ひとりの違いを認め、参加を促す社会の実現		3	2	多言語の生活ガイドブックの配布に加え、多言語やさしい日本語による相談窓口を開設した。また、外国の生活を現地からリアルタイムで紹介してもらうオンラインツアーを実施し国際理解を図った。 LGBTの理解を深める研修会はコロナ禍のため実施に至らなかった。
	8	4	3	

全体の達成度	評価		
	A	B	C
	40	17	4

基本方針Ⅱ 一人ひとりが希望する働き方の実現

コロナ禍により、テレワークの導入等働き方が変化しており、ワーク・ライフ・バランスの推進のため、労働局と連携し、積極的な周知を行った。
 また、サイエンスパークの拡張や新たな産業団地の検討等、魅力的なしごとを創出する基盤を整備するとともに、新規創業者に対する助成金の新設など、希望する働き方の実現に向けた支援を行った。
 今後もワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組みを継続するとともに、次代を担う若者にとって魅力ある「しごと」の創出に努める。

	数値目標	当初値 (R1)	現状値 (R3)	目標値 (R7)
1	女性の15～64歳の就業率	73.1%	77.6% (R2)	75.5%
2	市役所男性職員の育児休業取得率	0.0%	19.5%	50%

施策の方向	評価			令和3年度の具体的な取組み
	A	B	C	
Ⅱ-1 仕事と生活の調和をもたらす柔軟な働き方の推進 重点	1	4		労働局と連携し、市内事業者に対し一般事業主行動計画の策定や、労働者への各種支援制度などの周知を実施した。
Ⅱ-2 雇用機会の充実と待遇格差の縮減	8	1		労働環境の改善や多様な働き方の推進について、ハローワークや商工団体等と連携し取り組んだ。 新規創業者への助成金を創設するなど、スタートアップを支援した。
Ⅱ-3 将来を担う人材を惹きつけるしごとの創出	2	2		鶴岡サイエンスパークでは不足する研究室を補うため、研究棟の拡張を進めた。 また、新規就農希望者へ研修機会を提供し、国事業を活用し、研修期間における生活資金の確保を支援した。 つるおかエール奨学金返済支援事業を新設し、若者の地元回帰を促進した。
	11	7	0	

基本方針Ⅲ 誰もが活躍できる地域社会づくり

市の審議会等における女性委員の割合は年々向上しており、政策や方針決定の場への参画を進めている。また、地域を牽引していく官民の女性リーダーの育成を進めるため、市役所内で女性職員の意見交換の場である「つるおか小町Café」を開催したほか、地域づくりや防災現場への女性の参画を促した。今後もこうした取組みを継続し、誰もが活躍できる地域づくりを進めていく。

	数値目標	当初値 (R2)	現状値 (R3)	目標値 (R7)
1	市の審議会等委員の女性比率	23.8%	28.6%	30%
2	地域防災アドバイザー女性登録者数	6人	6人	8人

施策の方向	評価			令和3年度の具体的な取組み
	A	B	C	
Ⅲ-1 女性の政策・方針の決定過程への参画の促進 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-left: 20px;">重点</div>	1		1	市審議会等の改選期に合わせて、専門的な知識を有する女性の発掘や充て職自体を見直すなど、男女の比率に配慮した。また、地域を牽引していく官民の女性リーダーの育成を進めるため、市役所内で女性職員の意見交換の場を確保した。
Ⅲ-2 地域活動への多面的な支援	2	3		地域の課題を見つめ、地域の将来を考える地域ビジョンの策定を通じて、男女や年齢の偏りなく活動する場を設けた。また、地域をコーディネートする人材の育成やアドバイザーの派遣など、地域に活力を与える人材の育成に努めた。
	3	3	1	

基本方針Ⅳ 不安なく家庭生活を営むための環境の整備

結婚や出産、子育て世代に対する相談体制の整備、障害者や高齢者の社会参画を推進するための各種施策の展開など、不安なく生活できるよう支援に努めた。
また、DVの相談体制について国や県とともに周知したほか、荘銀タクト鶴岡でもパープルライトアップを実施し、DVIについての正しい知識の啓発に努めた。

	数値目標	当初値 (R1)	現状値 (R3)	目標値 (R7)
1	子育ての環境や支援への満足度について5段階中4点以上と評価する保護者の割合	27.6%	-	42%
2	DVを受けたことを「相談した相手がいる」人の割合	61.5%	-	80%

施策の方向	評価			令和3年度の具体的な取組み
	A	B	C	
Ⅳ-1 子育てする人、出産を希望する人への支援の充実 重点	5	2		子ども家庭支援センターと地域子育て支援センター15か所を開設し、育児相談体制を整えている。 また、学童保育のない地域において、コミセン等を活用し、地域住民の参画のもと放課後の児童活動の場を提供した。
Ⅳ-2 心身ともに健康な生活の確保	4			妊婦検診や保健師による産前産後のサポートのほか、生活習慣病の発症や重症化を予防するための指導や健康診断の受診を促した。
Ⅳ-3 高齢者や障害者が安心して暮らせる地域づくり	6	1		生活支援コーディネーターを配置し、地域支え合い活動の推進に取り組んだ。また、住民主体の通いの場の普及や生活支援等の担い手の養成に努めている。 障害への理解を深めるための啓発活動やイベント等での手話通訳、タクシー券等による外出支援を実施した。
Ⅳ-4 DVの防止と適切な被害者支援の実施	3			啓発リーフレットの配布や市HPでの啓発活動のほか、内閣府の「女性への暴力をなくす運動」に合わせたパープルライトアップを荘銀タクト鶴岡で実施した。
	18	3	0	